

令和元年度学校関係者評価

専門学校中央医療健康大学校 スポーツ柔整学科・柔道整復学科

令和元年度学校関係者評価委員

■保護者

スポーツ柔整2年生午前部 大柳舞佳の保護者

■企業関係者

立志道接骨院 井谷陽介

■他校関係者（卒業生）

禅整骨院 三橋潤

1. 教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	B
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A
【現状の問題点】		
全体として改善されてきている。		
【改善のための方策】		
教育理念・教育目標の浸透の評価項目が低いため、今年度ホームルームの時間をつくることができなかつたため、その時間をつくり教育理念・教育目標、学生クレドを浸透させていく。		
【関係者評価】		
浸透というより理解というものを深めていくような形をとってみてはどうか。		

2. 学校運営

【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	A
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9	組織内の連携は適切に図られているか。	A
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は十分なされているか。	A
13	BSCは適切に活用されているか。	A
【現状の問題点】		
全体として改善されてきている。今後も高評価となるように努力していきたい。		

【改善のための方策】
全体的に改善されてきているため、来年度も高評価となるように学科間の情報共有をできるようにしていきたい。
【関係者評価】
親からの立場からすると成績の内容や課題等の事などをもうすこし連絡して頂きたいと思う。

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
13	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
14	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
15	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
16	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
17	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
18	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	B
19	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	B
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	A
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
シラバスの見直しはよりしっかりできるように年度末の計画を立てていく必要がある。成績の低い学生のフォローについては全体で当たれるように検討が必要である。		
【改善のための方策】		
学科の中でシラバスの内容が検討ができるように体制を整えていく。目標に到達していない学生に関しては、面談を増やし、課題を提出させその都度フィードバックをしていく。		
【関係者評価】		
目標に到達していない学生に対するフォローの改善強化をする策を今後考えていく必要がある。		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
25	就職率の向上が図られているか	A
26	退学率の低減が図られているか	B
【現状の問題点】		
成績下位者へのフォロー体制などが退学率の低減につながっていくと思われる。		
【改善のための方策】		
成績下位者へのフォローできる体制を学科間で検討し、またその学生の情報を共有することで退学率の低減を図っていく。		
【関係者評価】		

ティーチングではなくコーチング能力の改善の検討をされてはどうか。
また、グループ面談を行うのも一つのやり方として取り入れていくのはどうか。

5. 学生生活支援

【自己評価結果】		平均
27	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	B
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	A
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A

【現状の問題点】

学生相談やカウンセリングについては、どのような体制が望ましいか提言ができるように検討したい。

【改善のための方策】

学生面談の回数だけでなく、学生が相談しやすい雰囲気づくりをしていく。また校内の見回りを増やし、面談時だけでなく普段の学校生活の中で相談できる環境をつくり改善していく。

【関係者評価】

教育活動の部分でもだが、やはり面談のやり方の改善とコーチングに力を注いでいく必要があるのでは。

6. 教育環境

【自己評価結果】		平均
32	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	A

【現状の問題点】

計画的に予算化して整備していきたい。

【改善のための方策】

来年度も計画的な予算を作成し、整備をしていきたい。

【関係者評価】

特に無し。

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
33	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
34	入学案内（パンフレット）には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】		
かなり改善がされて評価が高くなった。今後も学生確保に努力していきたい。		
【改善のための方策】		
昨年度と比べかなり改善されているので、来年度もこの評価が維持できるようにしていきたい。		
【関係者評価】		
特に無し。		
8. 財務		
【自己評価結果】		平均
37	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	B
38	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A
【現状の問題点】		
学生数の確保と無駄の削減という収支両面で対応を図っていきたい。		
【改善のための方策】		
学科会議で収支実行状況を確認しつつ、計画的に管理をしていく。		
【関係者評価】		
特に無し。		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
39	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	B
【現状の問題点】		
特に問題は感じられない		
【改善のための方策】		
学科会議で個人情報の重要性や各種ハラスメント内容を検討し改善を図っていく。		
【関係者評価】		
特に無し。		